

# しずく 議会だより

No.76  
編集 / 議会広報編集特別委員会



●今号の主な内容

12月定例会のあらまし…2～4  
町の考えを問う

**一般質問** 12議員が登壇…5～16

広報特別委員会の活動報告…17

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り 42…18～19

# 12月定例会のあらまし



## 新春のごあいさつ

町議会議長 平子 忠雄

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかで希望に満ちた初春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、昨年中は皆様のご支援を賜り議会活動に精励できましたことに対し、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は町長選挙が行われ、新しい首長が誕生しました。その後に開催された12月定例会において延べ148人の傍聴者が

訪れたことは、今後の町政に対する関心の高さを表すものであったと思います。そしてその町政に対し、二元代表制の一翼を担う議会もまた、より良いまちづくりを目指して注意深くチェック、評価していく必要があります。

経済情勢はなかなか好転の兆しも見えず、地方にとっても厳しい情勢が続いておりますが、「丑つまずき、寅千里を走り、卯跳ねる」という躍進を意味する格言もあるようです。町民の

皆様の負託とご期待に応え、卯年の本年が飛躍の年になるよう、行政、議会ともに知恵を出し合い、住民福祉の向上を目指して活発な議論を交わしていく所存でございます。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、本年も当議会への変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、年頭に当ってのごあいさつとさせていただきます。

## 町長の給料カット議案は取り下げに

平成22年第6回12月定例会は、12月9日から12月17日までの9日間の会期で行われました。

本定例会では、条例の制定案件が1件、条例の一部改正が3件、補正予算案件が9件、広域事務組合案件が1件、人事案件が1件ありました。そのうち町長の給与に関する条例の一部改正については、さらに検討を加えるために取り下げられましたが、それ以外はすべて原案どおり可決しました。

請願2件と陳情2件はいずれも採択とし、これらを受け議員発議で国に意見書を提出しました。

雫石・滝沢環境組合議会議員選挙は、指名推薦により田中・上野・坊屋舗の3議員に決定しました。

今回の一般質問は12名が登壇し3日間にわたり、まちづくりや産業育成、雇用創出、TPP問題等について町当局の考えをたきました。

### 条例の制定

- 雫石町長期継続契約に関する条例の制定について（全員賛成⇒可決）

長期継続契約を締結することができる契約を定め、事務の効率化と経費の削減を図るために制定。

### 条例の一部改正

- 雫石町特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について（撤回）

町長の給料月額について、平成26年11月9日までの間、本則に規定する額の一部を減額（10%カット）するための議案であったが取り下げ。

- 雫石銀河ステーション条例の一部改正について（賛16、反2⇒可決）

銀河ステーションの施設の一部について、観光の振興および地場産業の活性化を図るため、名称を変更し新たな方法で活用するために改正。

○**雫石町コミュニティ消防センター条例の一部改正について（全員賛成⇒可決）**

町内に新たなコミュニティ消防センターを設置するために改正。

### 条例の一部改正の主な質疑

**問** 町長の公約で三役報酬 10%、退職金 20% カットとなっていた。町長の給料と退職手当カットはセットで提案すべきではないか。共済組合とどのような話をしているのか。

**答** 岩手県町村総合事務組合との打ち合わせでは、組合の条例を改正して雫石町長の退職金を 20% カットする考えはなく、カットするのであれば町で対応してもらいたいと言われた。退職する日の給料額が退職金の算定の基礎になるので、退職金 20% カットに相当する額に引き下げる必要があり、具体的には退職時点での退職金の算定の逆算をして定めることになる。改めてその日に限ってという形での提案になる。

### 一般会計補正予算（平成 22 年度）

○**雫石町一般会計補正予算（第 6 号）（全員賛成⇒可決）**

補正前の額	補正額	計
82億2,933 万円	9,390万8千円	83億2,323万8千円

- ▶ 障害者自立支援給付費(増) 2,968万2千円
- ▶ 介護保険事業勘定特別会計繰出金(増) 670万4千円
- ▶ 雫石保育園入所児童運営費委託料(増) 1,020万5千円
- ▶ 七ツ森保育所運営費委託料(増) 1,038万2千円
- ▶ 中学校総合体育大会等選手派遣費補助金(増) 433万9千円
- ▶ スポーツ拠点づくり推進事業費補助金 340万0千円

### 主な質疑

**問** 米価下落に伴ってJA 新いわてが考えている特別資金は再生産資金、運転資金、生活資金としても借り入れできるのか。これらを利用したときに米価下落相当部分の借り入れについては無利子になるように何か行政で対策を考えると、大冷害のときのように救農土木事業とか、緊急な対策を考えていかなければならないと思うが。

**答** 自然災害および農畜産物の販売価格低迷の発生により農家経営に大きく打撃を受けた農業者に対し、再生産の確保のための必要な資金を円滑に融資するもので、実際は下落した部分を JA 新いわてで認定して、その額が借りられる。その用途についてまでは制限がないと考えている。現在のところ救農土木については予算化していないが、さまざまな支援策を検討したい。

### 主な特別会計補正予算(平成 22 年度)

○**雫石町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）（全員賛成⇒可決）**

補正前の額	補正額	計
19億9,064万5千円	188万円	19億9,252万5千円

- ▶ 一般被保険者保険税還付金(増) 160万円
- ▶ 退職被保険者等保険税還付金(増) 28万円

○**雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第 2 号）（全員賛成⇒可決）**

補正前の額	補正額	計
12億3,353万7千円	5,760万3千円	12億9,114万円

- ▶ 地域密着型介護サービス給付費負担金(増) 1,739万0千円
- ▶ 特定入所者介護サービス費負担金(増) 1,263万0千円
- ▶ 居宅介護住宅改修費負担金(増) 325万5千円

### 主な質疑

**問** 居宅介護住宅改修費負担金は 1 戸に対してどれくらい出るのか。改修できる内容は。申請さえすれば、どなたにでも対応するのか。

**答** 要介護者を対象としたもので、上限が 20 万円である。自己負担が 1 割で、18 万円の給付支援となる。段差解消、手すりの取り付け、洋式トイレの取り付け等の内容になる。

### 盛岡地区広域事務組合

○**盛岡地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び盛岡地区広域行政事務組合規約の一部を変更する規約の協議に関し議決を求めることについて（全員賛成⇒可決）**

広域行政事務組合から広域消防組合に名称変更等するもの。

### 人事

○**教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて（全員賛成⇒同意）**

任期満了に伴い再任に同意した。



氏名 ささき ひろこ 佐々木 浩子さん（47 歳）  
安庭行政区在住  
任期 平成 23 年 1 月 13 日から  
4 年間

## 発議

### ○発議第1号 保険で良い歯科医療の実現を求める意見書の提出について（全員賛成⇒可決）

患者が治療費を心配することなく安心して歯科受診できるよう、保険で良い歯科医療が行なえるよう、次の事項の実現を国に強く求めるものです。

- 1、患者窓口負担を軽減
- 2、保険給付の範囲を拡大
- 3、より良質な歯科医療が提供できるよう診療報酬を改善

**提出先** = 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

### ○発議第2号 TPP交渉に関する意見書の提出について（全員賛成⇒可決）

生産農家が将来にわたり、夢と希望と誇りを持って営農できる農業政策の確立と、国民が求める安全・安心な食料の安定供給及び食料自給率向上の観点から、日本の食と農、地域経済が犠牲となるようなTPP交渉には参加しないよう国に強く要望するものです。

**提出先** = 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

## どうなりました 皆さんからの 請願・陳情

### ○請願第7号 「保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」の採択を求める請願（採択）

**提出者** = 岩手県保険医協会  
会長 箱石 勝見

### ○請願第8号 TPP交渉に関する請願（採択）

**提出者** = 新岩手農業共同組合  
代表理事組合長 田沼 征彦

### ○陳情第4号 米価暴落に関する陳情書（採択）

**提出者** = JA 新いわて南部地域稲作生産部会 雫石中央支部

支部長 滝澤 秀一

JA 新いわて南部営農経済センター

センター長 細川 正雄

### ○陳情第5号 「福祉灯油」の実施を求める陳情（採択）

**提出者** = 岩手県生活協同組合連合会

会長理事 加藤 善正

岩手県消費者団体連絡協議会

会長 高橋 克公

## 臨時会

平成22年第5回臨時会が11月29日に開催されました。深谷新町長の就任挨拶があり、議会を代表し煙山副議長から激励を込めた就任祝いが述べられました。

本臨時会では、損害賠償の額を定める専決処分の報告が2件、承認が1件、条例の一部改正が1件、補正予算が1件ありました。

### ■条例の一部改正

#### ○一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について（賛15、反3⇒可決）

・平成22年度施行分（12月1日施行）

中高年齢に限定して給料月額を平均0.1%引き下げる、期末手当と勤勉手当を12月期の支給割合を0.15カ月分、0.05カ月分、合わせて0.2カ月を引き下げることなど。

### ■主な質疑

**問** 国の人事院勧告に沿って給与を改定するようであるが、県内の民間企業と県の給料レベルは同じという調査結果により基本給には手を付けられないという県の勧告もあったはずだ。なぜ、国の基準を採用したのか。

**答** 昨年度も国の内容で実施したという前提上、本年度も国の人事院勧告に基づくものとした。

### ■補正予算

#### ○雫石町一般会計補正予算（第5号）（全員賛成⇒可決）

補正前の額	補正額	計
81億8,013万円	4,920万円	82億2,933万円

- ▶河川災害復旧工事 3,260万円
- ▶道路災害復旧工事 1,660万円

質問者／  
川口一男 議員  
かわぐちかずお



## 米価下落の状況下に農家の 支援策・指導をどうするか

### 町長／慎重に検討する

別所得補償モデル事業においては、平成22年産米の平均販売価格が過去3年の全国平均販売価格から算定した補てん基準価格を下回った場合にその差額が補てんされる制度となっており、この差額については平成22年産米の販売価格が決定しなければ算定できないことから、米の所得に係る実質的な減収分がどれだけになるのか判断できない状況にあることに加え、自治体として農産物の価格補てんをすることについては慎重に検討する必要があると考えている。

また、今後の農家指導については、稲作のみならず農作物全体にわたり徹底した低コスト生産への取り組みが必要であると考えている。新たな栽培技術の導入などについて、盛岡農業改良普及センターやJA新いわてと連携しながら農家への支援に努めていきたい。

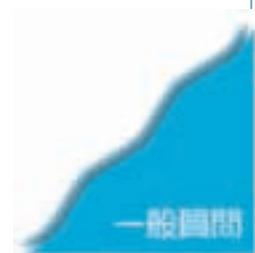
川口議員 今日の日本農業は先行き不透明な農政である。特に米生産者にとっては、生産調整を面積で目標を示してきたが、7年前から生産数量に切り替えた。数量目標はいわば生産枠や米の需給動向を視野に生産量を調整して価格の安定を図るねらいであったが、目標算定の基礎となる需給見通しが甘く、在庫米が50万トン生じた。

戸別所得補償制度がスタートしたものの米の買い叩き現象を招き、米価の下落に歯止めが掛らない状況にあることから、現在の状況を踏まえて、町として支援策や農家指導をどう考えていくのか。

町長 町の支援策については、複数の農業関係団体からも米価下落に対する補てん対策等を講じるよう要望をいただいている。このままでは再生産はおろか、稲作の維持すらできない状況にあるという切実な思いは十分に理解している。しかしながら、米の戸



町として農家に対する支援、指導を





質問者／  
おおむらしょうとう  
大村 昭 東 議員

## 本町の農村社会としてのまちづくりは

### 町長／新しいまちづくりの持続的理念で

大村議員 米価下落や減反強化、TPP、自殺者多発など、農業で成り立っている本町は危機的状況にある。このままでは15年後の平成37年における本町の人口が15,050人まで減少し、超高齢化の進行に伴って農業従事者はたったの563人になると予測されており、市町村の「勝ち組」「負け組」の二極化が進行している中で、本町は「負け組」減少する農村社会が到来する危険性がある。

このような中であって本町のまちづくりは、「町行政を民間発想に変え新しい雫石の始動」をスローガンに、町農業総生産5%、町民所得10%アップ、審議会等の女性比率50%、三役報酬10%および退職金20%カット、住民主権・住民自治のまちづくり、生活優先・ムダづかいをなくす行財政改革、町民が議会参加できる一般議会、日曜や夜間議会などがマニフェスト等で町民に約束宣言され、推進されることになった。

これら約70項目にわたる新施策を雫石町新総合計画前期基本計画にどう落とし込み、平成23年度予算に反映させるのか。そして新施策実現の実施仕法書、新政策の評価システム、事務事業遂行のマネジメントサイクル行程表を完成させ、人口減少局面を迎え行財政環境が厳しい中で、どのように財源を確保し、どのような施策に重点を置いていくのか所

信を伺う。

町長 「まちづくりについて」であるが、現在、住民代表の皆様で構成する「雫石町総合計画審議会」および庁内職員で構成する「雫石町総合計画策定委員会」の委員による合同作業によって、次期雫石町総合計画の策定作業を進めている。

次期総合計画の計画期間となる平成23年度から平成31年度までの9年間のうち、前期基本計画は平成27年度までの5年間についての計画として策定することとしており、重点施策については次期総合計画における5本の施策大綱の柱の中に、私の新しいまちづくりの永続的理念を加えて諸施策を展開し、5年間の計画期間において順次計画に掲げる目標の達成に向け取り組み、財源を含めた予算編成との調整を図りながら、総合計画を着実に推進するために、総合計画に示された取り組みや目標が達成できたかを明らかにし、達成度を評価・検証しながら進捗管理することとし、総合計画、予算編成、政策評価および事務事業評価等と連動させることにより、施策を確実に推進していく。

質問者  
石亀 いしがめ  
貢 議員 みつき



## 町単独の補助金の検討を

町長／全般的な見直しや精査が必要

### 監査執行体制の強化を

**石亀議員** 地方自治法が改正されて監査委員の職務権限が拡大された。従来は財務監査に限定されていたが、事務についての行政監査も権限であるとされている。予算執行の適正、透明性を確保するため監査事務局の設置はどうか。

**町長** 議会事務局の職員が兼務体制で対応しているのが実態であるが、業務内容等を勘案して、監査委員と協議し適正な監査業務が行えるよう体制を検討したい。

**石亀議員** 外部監査制度の導入はどうか。

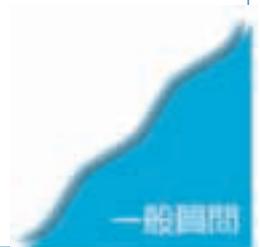
**町長** 監査執行体制の強化は税金の無駄遣いをなくし、公平、公正な地域社会を築くために議会議員および監査委員、町民と今後十分に時間をかけて、検討を進めたいと考えている。

**石亀議員** 町が単独事業で実施している補助金を申請の事業内容、地域の貢献度、時代に合っているか等について、審査を行うために有識者で構成する委員会の設置はどうか。

**町長** 補助金事業は個人や組織の特定の事業に係る事業費を必要に応じて補助している。内容は事業により交付要件および受益者についても異なっており、補助金ごとに規則を補完する要綱を定めて運用している。毎年度予算計上段階で事業計画書を精査、場合によっては補助金の縮減や制度の廃止も行っている。各種補助事業の運営は、地域の貢献度や時代への適合状況も審査している。交付対象経費や補助金を決定するための委員会を設置することは難しいと考えるが、全般的な見直しや精査が必要と考えており、平成23年度各種補助金の調査、検討による精査を行う。



定期的に行っている監査の様子





質問者／  
うわのみよじ  
**上野三四二 議員**

## あれもこれもではなく、重要施策を

### 町長／理念として、「環境・教育・福祉」の三つ

**上野議員** 町長のマニフェストは広範多岐のものであるが、あれもこれもではなく、重要施策として何を優先し、行動計画（4年間のタイムスケジュール）をどのように進める考えか。また、公約にある「道の市」構想はどのようなものか。今ある「道の駅」と競合しないか。

**町長** 住民主権で「環境・教育・福祉」の3理念に「産業振興」を加えた4分野を優先して行政を進めたい。行動計画の進め方としては次期総合計画、前期基本計画策定後に実施計画を明らかにし、任期4年間においてマニフェストを実現したい。道の市は住民合意を前提に、既存の道の駅とは競合しない住民経営型として国道46号線沿いに展開したいと考えている。

#### 農業政策と農業者支援は

**上野議員** 米価が急落している要因は、生産者が戸別所得補償されていることが背景にあるとされる。しかしこれほど低価格になれば、農家は生産資材の支払いや借入金の償還もできず、再生産意欲を全くなくしている。救済支援が急務であるが町長はどのように考えているか。

**町長** JA 新いわての価格低迷対策特別資金の利子全額補給を行い、経営安定を支援したい。今後、戸別所得補償の変動部分交付金を注視し、中長期展望を見据

えながら支援を検討したい。

#### 人質立てこもり事件への今後の対応は

**上野議員** 国内でも最近このような事件がなかったが、11月29日、人質立てこもり傷害の凶悪卑劣な事件が発生した。この事件は町民が起こしたのか、町民が巻き込まれたものか、防げなかったのかを明確に検証し、再発防止や地域環境の改善が必要である。町長は職責としてどう対応したか。

**町長** この事件は、青森県に本籍のある住所不定の男が町営住宅の入居者を刃物で傷つけた上、さらに別の入居者を人質として監禁し11時間も立てこもった事件で、町民が直接被害者になったことは住宅管理者として非常に残念でならない。今後、こうした事件を防ぐために引き続き警察機関と連携し、パトロール体制などを整え、万全を図りたいと考えている。



立てこもり事件後の町営住宅の様子

質問者／  
伊藤哲夫 議員

## TPPへの参加についての考えは

## 町長／拙速な交渉参加には反対

もちろん消費者や農業関連経営者などから幅広い声を聞き、国民の合意形成を図るべきであり、私としても拙速な交渉参加には反対の考えである。

## 介護保険財政と利用度は

伊藤議員 介護保険財政はどのようなになっているのか。

町長 本町の介護保険財政は、現在平成21年度から平成23年度までの第4期介護保険事業計画に基づき運営しており、平成21年度介護保険事業特別会計の決算額は収入額が11億9,942万円で、支出額11億6,615万円となっている。中でも介護給付費は10億9,259万円で、計画値の11億3,533万円を4,274万円下回り、健全財政運営ができるものと考えている。

伊藤議員 介護保険利用度の状況はどうか。

町長 本町の平成22年10月末現在の第1号被保険者は5,060人であり、このうち要介護、要支援認定を受けている方は908人で、認定割合は17.9%である。3月末の16.8%と比較すると1.1%伸びている。また、要介護、要支援認定者908人のうち、介護保険サービスを利用している方は717人で、利用率は79.0%となっている。また、介護認定を受けているにもかかわらず介護サービスを利用していない方が191人いることから、今後も引き続き未利用者の解消に努めたい。

伊藤議員 TPPへの参加は、農業や地域経済が破壊される恐れがある。農業は本町の基幹産業であり、またその他の産業にも影響が出ることが懸念されるが、町長の考えを聞きたい。

町長 政府は11月6日に経済連携の基本方針を閣議決定しており、TPPへの参加は先送りしたものの、関係国との協議を開始するところである。この協定は、太平洋を囲む地域で自由貿易を推進する枠組みの関税撤廃、知的財産権の保護、投資条件の改善などが基本となっている。この中で関税撤廃は、農林水産業にとって大きな影響が出ることから、政府においては11月30日に食と農林漁業の再生推進本部の初会合を開催し、来年6月をめどに基本方針をまとめ、TPP参加への環境が整ったかどうか判断したいとしている。

本町農業への影響は、農業産出額が約6割減少になる試算を示したところである。農業のみならず、農業関連産業での雇用減少や農村が持つ自然環境の悪化など、疲弊している地域経済に深刻な打撃を与える問題だと考えている。

去る12月1日、全国町村長大会に参加したが、TPPに参加することにより農山漁村に影響を及ぼすとして、協定への参加に反対する特別決議を採択した。

国においては、農業者はも

\* TPP・・・加盟国間で貿易自由化を目指す経済的枠組み。工業製品や農産品、金融サービスなどをはじめとする、加盟国間で取り引きされる全品目について関税を原則的に100%撤廃しようとするもの。原則として例外を認めない貿易自由化の協定であることから、経済団体を中心に支持する声が大い一方、日本国内の農林漁業は壊滅的な打撃を受けるとして参加に反対の声も上がっている。



質問者／  
さるこしげひさ  
猿子恵久 議員

## 無駄遣いをなくす行政改革とは

### 町長／事務事業の簡素化・効率化を図って行く

**猿子議員** 町長は、住民との政策宣言において、税金の無駄遣いを徹底的になくした行政改革を行うとしているが、具体的にどのような改革を行おうとしているのか伺う。

**町長** 社会情勢の変化や複雑、多様化する行政課題に対し、効率的、効果的な取り組みが可能な組織を構築するため、定期的な組織機構の見直しや適切な業務量に応じた人員の配置、さらに政策評価制度の有効活用により、予算の選択と集中を徹底し、長期的な視点と計画的な財政運営のもと、事務事業の簡素化、効率化を図りながら計画の着実な推進に努めていく。

#### 米価下落に対する対策は

**猿子議員** 本町は、農業を複合型の農業経営で基幹産業として維持してきたが、米価のあまりの暴落に複合の根幹となる水田農業の維持・存続が危ぶまれ、本町の環境維持にも影響を及ぼすと考える。そのためにも稲作農家への緊急な補てん対策を講じていかなければならないと思うが、町長はどのように考えているか。

**町長** 米の戸別所得補償モデル事業において、平成22年産米の全国平均販売価格が過去3年間の全国平均販売価格から算定した補てん基準価格を下回った場合は、その差額が補てんされる制度となっ

ている。この差額については、平成22年産米の販売価格が決定しなければ算定できないことから、米の所得に係る実質的な減収分がどれだけになるのか判断できない状況にあることに加え、自治体として農産物の価格補てんをすることについて慎重に検討する必要があると考える。

米価の下落を防止し、その安定を図っていくためには、生産調整を全国的にきっちりと実施し、需給の均衡を図ることが不可欠だと考えている。また、岩手県に対する市町村要望において、緊急の政府買い入れ実施、本格導入が予定されている米の戸別所得補償制度における円滑な需給調整ができる仕組みを組み込んだ制度設計、所得補償予算の確保、米粉利用を含めた米の消費拡大策について、国に対し協力を働きかけていただくよう要望書を提出したところである。今後も国に対して米価下落防止に実効ある制度設計を強く要望していきたい。



米価の下落対策が急務

質問者／  
すぎさわとしあき  
**杉澤敏明**  
議員



# 今後の住民サービスの向上策は

## 町長／組織体制の再編を進めていく

**杉澤議員** 町長は、今後の町政運営について、組織を再編しオール雫石で行政のレベルアップを図り、住民サービスの徹底、向上を実行しているが、その具体的内容はどのようなものか。

**町長** まずは農林業部門の強化を進める。行政だけでなく、関係団体、企業、または住民組織と連携を取りながら、新しいまちづくりのためには何が必要であるかを考え、担当部署と協議しながら組織体制の再編を進めていく。

### 雫石高校の存続を

**杉澤議員** 県教育委員会は、6月をめどに具体的な再編案を示すとしている。このような中で、定員割れが続いている雫石高校の存続について、どう取り組んでいくのか。

**町長** 12月13日に中央公民館で開催された今後の県立高校に関する出前懇談会において、存続を強く要望したところであり、今後も何よりも地域の声をよく聞き、地域の高校のあり方について検討されるよう、県教育委員会に強く要望していく。

**米価下落に対する補てん対策を**  
**杉澤議員** 米価が大幅に下落した農家への対応をどのように考えているのか。

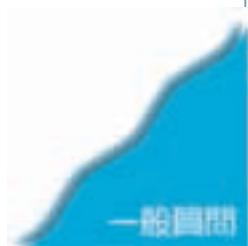
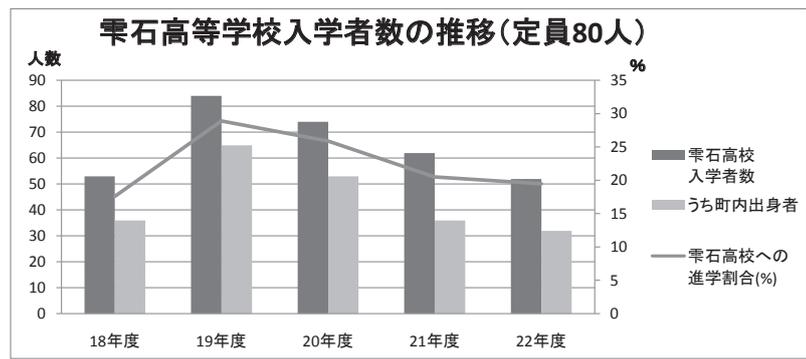
**町長** JA 新いわてが実施する自然災害及び農畜産物価格低迷対策特別資金の債務負担と利子全額を補給する。当面の経営資金として役立てていただけるものと考えている。

**国の補正予算に係る事業の実施を**  
**杉澤議員** 国の補正予算に呼応して実施しようとしている施策および事業費をいくら程見込んでいるのか。

**町長** きめ細かな交付金5,708万9,000円、住民生活に光をそそぐ交付金が971万3,000円となっており、地方交付税も6,000万円ほど増額された。施設の維持補修費、あるいは住民サービスにつながるソフト事業も検討していく。

**杉澤議員** 水路や側溝の改修、間伐などの救農土木事業と24時間対応の介護サービスを実施してもらいたい。

**町長** 貴重な提言なので参考にさせていただく。





質問者／  
たなかえいいち  
田中栄一 議員

## 補助金は公益性・透明性を高めて適正化を

### 町長／補助金の見直し、縮減を図ることが重要

**田中議員** 今日、国・県の財政が大変厳しい状況である。本町の財源の約70%が地方交付金・補助金に依存しているのが現状であり、今後は公債費や社会保障費の割合が増大し、政策経費である「地方交付金・補助金」の削減が予想される。このような情勢にかんがみ、公益性・透明性を高める補助金・負担金の適正化と見直しが必要でないか。

**町長** 町から支出している補助金は114事業があり、負担金は222の事業に及んでいる。行政の施策推進のために奨励しようとするものなど広範多岐におよんでいるが、町の将来的な財政負担の観点から不要な事業や予算を見直すため、事務事業全般の見直し、とりわけ補助金・負担金の見直しや縮減を図ることが重要である。

#### 観光施策の根本的な見直しを

**田中議員** 本町の観光入込数はピーク時の69%（114万人減）にまで落ち込んでいる。この現状をかんがみると、観光施策の根本的な見直しが必要ではないか。

**町長** 「観光の町」を標榜する当町にとって大変厳しい状況であり、観

光施策の根本的な見直しが必要なものととらえている。現在、観光施策の根本的な見直しに向けた情報収集や\*ベンチマーキング等を行っており、さまざまな角度からご意見を賜り、現状調査と現状認識についてヒアリングを実施し、観光振興の方策を策定したい。

**田中議員** 産業振興課観光推進室を観光交流課に昇格すべきと考える。国では国土交通省観光部を廃止し、外局として観光庁を設置しており、国を挙げて観光振興を図っている時に当町は国の方策と逆行しているのではないか。

**町長** 今後、インバウンド（訪日外国人）への取り組みなどの観光振興が必要である。関係者や議会の皆さんと相談しながら、この町にふさわしい行政機構に変えていく中でひとつの課として考えたい。



町の観光名所の一つ鶯宿温泉

\*ベンチマーキング・・・業界を超えて、優れた方法を実践している組織から実践方法を学び、自分の組織に適合した形で導入して改善に結び付ける管理手法

質問者／  
かとうまさみ  
加藤眞純 議員



## 費用対効果のない事業の評価は

### 町長／改善、改革をしながら

#### 取得した町有地を町民に有益なものとして

**加藤議員** 既に取得している町有地を町民にとって有益なものとして未来につなげていくため、幅広い町民参加型かつ、外部からの知恵やアイデアを取り入れ、購入目的に合った保全や利用の方法などを協議する機関を設置するつもりはないか。

**町長** 環境保全等用地、農業者大学校旧研究室実習検討拠点施設跡地（旧落葉果樹試験場）については、新たな協議機関は設けず、現在設置している委員会およびしずくいし産業再生戦略会議において協議検討を進めて行きたい。

**加藤議員** 今までのような絵に書いた餅構想ではなく、町民にとって有益なものとして未来に繋げていくための利活用の方針はどのようなものか。

**町長** 先ほどの前者は現状の里山としての景観を保持することを基本としながら、また後者は、取得の際の農業と観光の連携強化や資源循環型農業の普及を基本としながら、協議会に加え、有識者や民間活力の活用など、外部からの意見や知恵、アイデアなどを借りながら具体的な利活用の方策を検討して行きたい。

**加藤議員** 町の事業とはいえ、福祉と教育関係以外の事業では、費用対効果の無いもの、すなわち赤字事業・採算の取れない事業は失策であると言うのが一般的である。

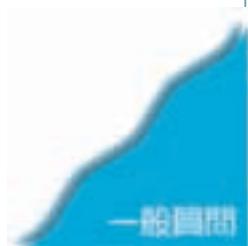
下記の事業について、費用対効果または、費用便益比（B/C）をどのように評価しているのか。また、その効果は、一部の地域や一部の団体のためのみでなく、全町民に対してどのような利益（社会的貢献を含め）をもたらしているのか。

- 1) 駅南口の産直設備
- 2) 駅舎内の産直設備
- 3) 駅舎内のレストラン
- 4) まちおこしセンター
- 5) 鶯宿水辺公園
- 6) 鶯宿の駐車場
- 7) 雫石町定住促進住宅

**町長** それぞれの事業においては実績が出ているもの、計画に届いていないもの、これから本格的に利用するものがある。1、2年の評価をもってその正否を判断することよりも、整備された施設等がその目的を達成するよう、必要によって改善、改革をしながら、ひいてはその効果が町全体に波及するように努める。



広大な面積が残る旧落葉果樹試験場跡地





質問者／  
まえだ たかお  
前田隆雄 議員

## 「農業は専業では食べて行けず」の意図は

### 町長／農業者を応援する気持ちは強い

**前田議員** 町長は、10月26日付新聞記事の中で「もう農業は専業では食べて行けず、兼業も職が不安定な状況だ。通年で働けるような雇用の場を確保したい。適地適作経営に変えていくために、無利子・無担保の農業基金をつくる」としているが、発言の意図と具体的な考えを伺いたい。

**町長** 取材の中で、現在の農業事情が厳しい状況であることから、専業でも兼業でも食べていけないという声があるというやりとりの中での表現だった。私としては農業者の方々に応援、支援していきたい気持ちは強く持っている。

また、「適地適作経営のための無利子・無担保の農業基金」については、本町の土壌や気象条件に適合し、さらには高齢者でも栽培可能な品目を含め、本格的に検討する必要があると考える。そのためには、資金力も必要となり、中期計画として検討したい旨の発言したものであり、農業者の方々の経営改善、経営安定のための方策の一つとして検討したい。

#### 米価下落に対する支援策は

**前田議員** かつてない米価下落に農家は絶望し、今後の経営に大変な不安を抱えている。収入激減の対策や今後の経営安定化のために何らかの対策が必要ではないか。

**町長** 今後における「米の個別所得補償モデル事業変動部分の交付金」について注視するとともに、中期的展望を見据えながら経営支援策を検討していく。

早急な対策としてはJA新いわてが農産物の価格低迷対策として実施する「自然災害及び農畜産物価格低迷対策特別基金」に係る債務負担行為と利子補給経費を今回の補正予算に措置したところであり、町がその利子全額を補給し、農業者の経営安定を支援する考えである。

#### 教育委員の不在に対する考えは

**前田議員** 本町の教育委員は法律で5人とされているが、教育委員の欠員や教育長の不在をどのように考えているか。

**町長** 教育長は教育行政の専門家、すなわち教育に関し専門的識見を有するとともに行政にも練達したものであることが要求される。慎重に適格者を選任したいと考えている。

質問者／  
谷地善和議員  
やちよしかず



## 副町長と教育長の選任はまだか

### 町長／どなたがふさわしいか熟慮中

#### 町長が議会基本条例をつくるのか

谷地議員 町長選の出馬を正式に表明した際、「『住民と議会、行政が一体となったまちづくりを目指し、意見を交わせるような議会基本条例を制定したい』と変革を訴えた」と報道があった。この発言は事実か。議会基本条例については町当局ではなく、議会側が取り組むべきものと考えますが、見解を伺いたい。

町長 ご指摘のとおり、実際に議会基本条例を制定するか否かの検討、決定は議会議員の皆様によるものと認識している。マニフェストで提言した真意は、当局側から議会基本条例案を提案するという意味合いではなく、町民と議会と行政が連帯意識を持ってまちづくりを進めていくための一つ的手段として、私なりの考えを述べたものであり、ご理解を願いたい。

谷地議員 町長は「行政経験がない、行政については素人だ」と公言しているが、この発言は町民の一人として、あまり感心しない。もし、そうであるならば速やかに副町長と教育長を決定し、スクラムを組んで町政にあたるべきではないか。町民は町政の停滞を心配している。所見を伺いたい。

町長 私は行政経験がなく、行政に関することは初心者なので、就任当初はその心境を述べさせてもらった。就任後、各担当課から現在の業務についての説明を受け、細部を伺い、私なりにその内容を受け止め、今後の施策をどのような方向に向けていくか思慮している。今は、管理職をはじめ、全職員が頑張っており、業務を着々と遂行している。副町長と教育長人事については、今後の町づくりの実現に向け、どのような方がふさわしいか、私なりに熟慮して取り進めたいと考えている。



不在となっている副町長と教育長





質問者／  
むらたあつお  
村田厚生 議員

## 観光と農林業に町の資源活用を

### 町長／資源を磨きあげ雇用の場を

**村田議員** 町長の公約の中から「地域の資源を生かし、観光と農林業を一体化する施策」について伺う。また、町の資源活用をどのように展望しているのか。

**町長** 農業と観光、スポーツ、文化と観光による交流人口の拡大を図り、町の豊富な森林資源を活用したトレッキングコースの整備など、エコツーリズムを拡大する事業を展開するとともに、観光大使制度を導入して、雫石の知名度や魅力度の国内外への発信力強化につなげたい。

この数年、雫石町のみならず世界そして国内社会経済の低迷の中、大変厳しい経済状況下にあるが、雫石町に今ある資源を磨きあげ、小さくても当町にふさわしい産業を再生させ、そこに小さな雇用の場を作り、全国的にも素晴らしい自然資源を持っている町の活性化を進めていきたい。

#### 新しい観光推進に若い人を

**村田議員** 緊急雇用創出事業の継続の中で、特に雫石高校の生徒たちに町内の観光業務への就職を推進してはどうか。同校には各地で若さあふれる舞を演じる郷土芸能委員会があり、若い人たちがやがて町内に就職してチームを作り、ホテル旅館等で雫石よしゃれ、さんさを演じることにより観光客に強烈なインパクトを与え、再度の観光来町につながるような施策が必要と思うが所見を伺う。

**町長** 現在町内のホテルでもいろいろな芸能を取り入れて、さまざまな企画を行っているとは伺っている。津軽三味線や尺八の名人を連れてきたり、四季折々の

お客様のタイプに合わせて催事を行っているところもあり、これをもっと大きくするよう、今回の提案を関係者の方々と検討しながら、促進、努力していく。

#### 米価下落に対する支援策を

**村田議員** 平成22年産米の価格下落の衝撃に農家は激震の中にある。町とJA新しいわてが連携した支援救済策はどうか。

**産業振興課長** 今回の米価下落幅が町全体でも6億9,200万円になると思われる。新たに国が打ち出したモデル対策事業では、10アール当たり1万5,000円程度で支払いになっており、町全体で農家には約3億円ほど入っている。下落変動部分の補てんについては過去3年間の平均販売価格と今年の米価の下落幅について、モデル事業に対しては3月までに支払う内容になっており、2月ごろに判明する。

#### 町の財政に公有財産の活用を

**村田議員** 本町は広域管内でもトップクラスの町有林を有している。そして大部分の林地が成長林に達してきている。町の財政も年々厳しくなっていることから、木材価格の低迷の中であるが、施策計画を立てて資産の活用を図り、財政に少しでもプラスになる施策を講じるべきではないか。

**町長** 町有林について、伐期の把握をしていないが、資産でもあることから町財政には有益だと思われる。実行に向け検討していきたい。

# 広報特別委員会 活動報告

議会広報特別委員会（谷地善和委員長）は当議会広報が全国町村議会広報コンクールで20・21年度と2年連続入選したことを機会にさらなる向上を目指して、10月5日に同コンクールにおいて5年連続で入選している金ヶ崎議会に伺って研修を行うとともに、11月1日には同じく21年度のコンクールで優秀賞を受賞した山梨県昭和町議会へ伺って議会広報の研修を行いました。

## 1. 金ヶ崎議会

全国町村議会広報コンクールで平成17年度から4年連続優秀賞を受賞し、平成21年度は入選一席と5年連続で入選を続けており、その安定した紙面づくりを研修しました。

- (1) 議会運営委員会終了後、傍聴活性化のために会期内日程のお知らせ版を区長、自治会長に発送
- (2) 議会広報は定例会終了の翌月第1木曜にスピード発行
- (3) 地方の新聞社へ事前に議会広報を送付し添削等の指導を受けている

そのほか紙面の見出しのメリハリや色遣い、写真やイラストの活用方法、遊び心のある記事など、当町とはさまざまな面で違いのある議会広報づくりを行っていました。



金ヶ崎町での研修の様子

## 2. 昭和町議会

これまで入賞歴がなかったにもかかわらず、平成21年度のコンクールにおいて優秀賞（2位）を獲得した原動力を研修させていただきました。

その主な取り組み内容は、

- (1) 山梨学院大法学部と連携し、議会改革を進める中での議会基本条例を制定、また分権時代の議会・議員のあり方や法律について、教授を交え研修会を年9回ほど実施
- (2) 区長との懇談会を実施し、さらに全行政区で年2回ほど出前懇談会を開催して地域の要望を聞き各委員会ごとに問題を検討
- (3) 議会広報には出前懇談会での様子など関心を引く記事を掲載

そのほか、採決の賛否の公開や休日議会の開催など、レイアウトや文章表現だけではなく、議会の活動内容が議会広報の評価を上げるための重要な要素となっていることが分かりました。

入選するだけあって両議会広報とも素晴らしい広報を作成しており、また議会改革についても貴重なご意見を頂戴し、非常に有意義な研修となりました。この研修を機会に当議会広報も内容の充実を図り、町民の皆様親しんでいただける議会広報づくりを目指して、なお一層努力していきたいと思っております。



昭和町での研修の様子



# 議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



いっほんぎ たかし  
一本木 孝志さん  
(63歳・天瀬行政区)



たかし ひろゆき  
高橋 弘幸さん  
(38歳・駅前行政区)



うわの さちひこ  
上野 幸彦さん  
(64歳・6区行政区)

## 議会を傍聴して

私の議会への傍聴は2回目です。今回の傍聴席は満員で町民の議会に対する関心の高さを感じ、また今の不景気に対して町への期待とも捉えられました。

今議会において質問されたことは農業に関する事が多く、現代の厳しい農業情勢の表れであり、「何とかしなければ」との思いが強いためであると思います。

米に対しては耕作の半分近くも減反させられ、さらに米価の値下げでこれでは農業は立ち行かなくなりません。町にはいろいろな課題がたくさんあり、議員の方々には大変努力されていることに感謝いたします。今後とも雫石のさらなる発展のためにますますのご活躍をご期待いたします。私も今後できる限り議会を傍聴させていただき勉強していきたいと思っています。

## 子育ては地域振興

自然豊かで観光資源も豊富な恵まれた町、雫石。しかし町内に就労している身としては景気の冷たい風を肌で感じており、その中であって子どもを守り育て、生活していくのは大変なことです。

私は数多い町政課題の中でも特に「子育てしやすい町づくり」に期待します。自然豊かで、しかも子育ての環境や指導が整っている町なら、もしかしたら人口が増え、その中の数パーセントでも町内で消費してもらえるかも知れません。

町の発展のため、農商工が連携し、知恵を絞って活路を見出そうと努力しています。抜本的な改革や、ソフト・ハードの開発も必要だと思いますが、すべての発展のカギを握るのは「人」です。私の期待する子育てしやすい町づくりは、ここにつながっています。そんな人を、子どもたちを育てられる雫石町は誰もが住みたい、活気ある、あこがれの町として全国的に悩める地域振興の先駆者となるでしょう。

議員の皆様のごこれまでのご苦勞に感謝し、これからのますますのご活躍に期待致します。

## 雫石高校存続のために

議会の皆さん、日頃の活動大変ご苦勞さまです。

今、県教育委員会では第二次県立高等学校整備計画策定に向け、県内9ブロックで地域別懇談会を開催し、今後の高等学校教育の基本的方向の説明や地域の要望等の聞き取りが実施されました。

我々雫石高等学校を支援する会でも、平成22年12月に本町独自の出前懇談会を開催し、県教育委員会から説明をいただくとともに、本町として雫石高校存続の要望をしたところ。そうした中で精査してみると、今本校の置かれている状態であれば存続は極めて厳しい状況にあると思われま。

我々支援する会も、学校・PTA・同窓会等と連携を密にし、町民の理解を得る努力をし、一人でも多く雫石高校に入学していただくための活動をしていくつもりであります。

議員の皆さん、雫石高校の存続が非常に厳しい状況にあると思われま。今後、議員の皆さんと行政の力強いご指導、ご協力がなければ雫石高校の存続はあり得ない状況です。議会一丸となつての取り組みをお願いしたいと思います。

## ふるさとへの便り— 42



かまだきぬこ  
在京雫石町友会 会員 鎌田絹子さん

### 年々募る故郷への想い

私の実家は御明神、和野地区（屋号はお和野）で、5人兄弟（長男、4姉妹）の次女として生まれました。

幼き日々の思い出としては、小学校の給食は脱脂粉乳と固いコッペパン……。今はない御明神中学校まで友達とズルズル、ペチャクチャ話しながら登校し、時に遅刻しそうになり後ろから来た先生にどやされたり、冬に教室の中に雪を入れて掃除してたら、職員室にポタポタ雫がたれて怒られたりした記憶があります。また高2の時、橋場線が赤湊まで開通し朝、汽車（電車じゃない）の前を線路伝いに走って飛び乗った春木場の無人駅。

初恋……。何もかも懐かしいです。

高校卒業と共に大阪の金融機関（現在の大阪市信用金庫）に就職しました。東北出身は私ひとりで心細い中、同僚や先輩、周囲の方々にかわいがられ、今でも当時の友人達とは親

しくしております。縁あって、福島県の浜通りに嫁いで40年余り。東京電力の原発立地地に近く夫も関連企業に勤めておりますが、東京、関東圏に在住せずとも、首都圏の電力供給に貢献しているから在京町友会に入れて下さるのかなと思ったりしております。家業は創業40年の田園スーパー。今では近くに大型店やコンビニができ、厳しい経営ですが、普段は近所の方たちの話し相手や小中学生相手の「カマダのおばちゃん」として頑張っております。

里帰りも難しく、年々故郷は遠くになりますが、故郷への想いはいっそう募ります。新しく変わったもの、消えていった事が多い中、いつも変わらず迎えてくれる岩手山が大好きです。「雫石」という清冽なイメージの地名も大好きです。心のよりどころ、ふるさと雫石町のご発展をご祈念致しております。



高校三年生の同級生と共に（筆者は前列左）



主人とドライブ（猪苗代湖畔にて）

鎌田絹子さんプロフィール

昭和22年生まれ。御明神小学校、御明神中学校、盛岡商業高校、大阪信用金庫就職。

昭和43年結婚と共に福島県で「スーパーカマダ」開業。娘二人は巣立ち孫3人。現在は夫と二人暮らし。

趣味は手芸（編み物、パッチワーク）など。

旧姓：高橋キヌ。

# 栗石町へようこそ

お嫁さん

お婿さん



結婚式で妻の美佳<sup>みかこ</sup>さんとの1コマ

ご縁があり、町外から迎えられた  
「お嫁さん」や「お婿さん」が登場します。

たかはし まさひろ  
高橋 雅裕<sup>まさひろ</sup>さん (35歳 埼玉県久喜市出身)  
(旧姓: 飯田、天戸行政区在住)

Q- お二人の馴れ初めは?

- 地元の久喜市で8年前に偶然知り合いました。私の一目ぼれです(笑)。

Q- 栗石町で暮らしてみているいかがですか?

- 平成19年4月からこちらで暮らしていますが、自然が豊かでお米や野菜もおいしく、野生動物と出会うこともとても新鮮です。日々、表情を変える美しい岩手山を眺めながら通勤するのが楽しみの一つになりました。(私の名前が偶然にも養父と同じです)

Q- 町に望むことは?

- 栗石町の素晴らしさをもっと全国に発信してもらいたいと思います。

Q- 今後のお子さんの予定は?

- 私も妻も3人兄弟なので、3人は欲しいです。

## 議会の話題を紹介します

### \*\*チャリティショーに参加しました\*\*

年末に町福祉協議会主催で開催される歳末たすけあいチャリティショーに、会場の盛り上げに一役買うために町議会も毎回参加しています。

今回は12月5日に開催され、議員全員で踊りと合唱を披露し、会場から笑いの渦と暖かいご声援をいただきました。



爆笑を誘った全員でのヒゲダンス

## 情報公開

### ●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】  
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳 (10月～12月)】

月	葬祭費	お祝い、会費
10	0件 -	0件 -
11	1件 20,000円	2件 8,000円
12	0件 -	5件 26,000円
小計	1件 20,000円	7件 34,000円
平成22年累計	3件 50,000円	31件 184,500円

### ■編集デスク

約4年間「議会だより」編集委員をしてきたが、その間、ニーズに答えているだろうか、読まれているだろうかと常に念頭に置きながら編集に当たった。また、他市町村の優れているアイデアを取り入れたりもしてきた。アンケートの実施や議決結果を、個人別に議案ごとの賛否まで一覧表で公表すべきだとか、さまざまな検討を重ねてきたが、今後実施したいものである。議会基本条例制定も時代の趨勢<sup>すうせい</sup>であり、それを進めたいと思っているが、まずは議会広報をもっと皆さんに読んでもらえるような工夫をしていきたい。  
(編集委員 加藤真純)

●今号の表紙/本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたしております。笑顔が絶えないまちの元気な子どもたちの様子を介绍。今回は、「安庭小学校」に通う児童たちの笑顔です。